

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

Osaka National Hospital

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース
News

No. 73

令和3年10月

このニュースは、年4回、
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。
詳しいお問い合わせは
地域医療連携室までお寄せください。



目次

地域医療連携室より

- ・ 新任及び退職医師のお知らせ 2
- ・ 講演会のご案内 2

病院のトピックス

- ・ 臨床工学室紹介 3
- ・ インターネット外来予約のご案内 7
- ・ 整形外科完全予約紹介制への変更のお知らせ 8
- ・ 祝日診療のお知らせ 9
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 10
- ・ NHO PRESS ～国立病院機構通信～について 10
- ・ がん相談支援センターのご案内 11

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター

地域医療連携室 令和3年10月発行 73号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] 408-comonh@mail.hosp.go.jp

～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

1) 政策医療の推進

- ・ 基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・ HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・ 3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・ 専門医療と総合診療の充実
- ・ 医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



2) 高度先進医療への貢献

- ・ 技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・ 臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・ 臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

3) レベルの高い医療人を育成

- ・ 卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・ 卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・ 専門職の育成

4) 情報開示と情報発信

- ・ 透明性を保った情報の開示・発信

新任及び退職医師のお知らせ

新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R3. 6. 16	医師（臨床検査科）	廣瀬由美子	採用
R3. 7. 1	専攻医（消化器内科）	西本 奈穂	採用
R3. 7. 1	専攻医（消化器内科）	清水 祐介	採用
R3. 7. 1	専攻医（放射線治療科）	為永 節雄	採用
R3. 7. 1	専攻医（整形外科）	近藤 弘基	採用
R3. 8. 1	専攻医（外科）	東山 智彦	採用
R3. 9. 1	医長（乳腺外科）	八十島宏行	昇任
R3. 9. 13	専攻医（麻酔）	原 恵理子	育休復帰
R3. 10. 1	医師（整形外科）	安田 直弘	採用
R3. 10. 1	専攻医（形成）	名和 沙織	採用

退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R3. 6. 22	専攻医（産婦人科）	小椋 恵利	育児休業
R3. 6. 30	専攻医（整形外科）	中嶋 哲史	退職
R3. 6. 30	専攻医（糖尿病内科）	河本 佐季	退職
R3. 7. 9	専攻医（麻酔）	原 恵理子	育児休業
R3. 7. 31	専攻医（麻酔科）	中嶋真理子	退職
R3. 9. 19	医師（小児科）	前川加奈美	育児休業
R3. 9. 23	非常勤医師（腎内）	七條 綾子	育児休業
R3. 9. 30	医長（乳腺外科）	増田 慎三	退職
R3. 9. 30	医師（整形外科）	中井 隆彰	退職
R3. 9. 30	専攻医（形成）	上月 志乃	退職

講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
令和3年10月30日(土)	第53回法円坂地域フォーラム	『腎臓病における治療の進歩～腎炎からCKDまで～』 『前立腺癌からみた地域連携』『前立腺癌とPSA検診』 『当院における前立腺癌治療の現況』 ～ロボット支援下前立腺全摘除術を開始して～』	医師及び医療従事者

開催場所 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅①号出口すぐ

問合せ 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

臨床工学室紹介

国立病院機構 大阪医療センター 臨床工学室

大阪医療センター臨床工学室では室長1名・技士長1名・主任3名・技士7名・事務助手2名で業務に取り組んでおります。当院は三次救急を担っている急性期病院であり、数多くの診療科があります。臨床工学技士も集中治療領域から循環器部門や血液浄化部門など多岐にわたって診療技術支援をしております。また豊富に医療機器も揃えており、各種装置の点検やトラブルシューティング、修理対応も行ってまいります。

当直・オンコール体制をとっており24時間365日緊急手術や機器トラブルなどに対応できるようにしています。

11名の臨床工学技士で各業務を毎日分担・ローテーションし、安全第一で業務に取り組んでおります。

Staff			
吉龍 正雄	医療技術部長兼 臨床工学室長	藤井 順也	臨床工学技士
中村 貴行	臨床工学技士長	中野 光樹	臨床工学技士
宮川 幸恵	主任臨床工学技士	黒木 亮佑	臨床工学技士
樋口 栄二	主任臨床工学技士	町屋敷 薫	臨床工学技士
中崎 宏則	主任臨床工学技士	高橋 駿平	臨床工学技士
		丸宮 和也	臨床工学技士
		伊藤 彩乃	臨床工学技士

業 務 紹 介

血液浄化業務

血液浄化とは透析や吸着、血漿交換などあらゆる原理を駆使して、血液中の病因物質の除去、浄化する治療です。

透析とは、機械を用いた腎臓の機能を代行する治療法です。

腎臓の機能が低下してしまったため、血中老廃物の貯留や電解質が正常を保てなくなるところを、透析装置を用いて浄化しています。

臨床工学技士は各装置の操作や保守点検を実施しています。

当院では透析の他に、血漿交換、血漿吸着、PMX、CHDFなど、様々な血液浄化に対応しており臨床技術サポートを行っています。

また、当院では透析の一つである

on-line HDFも実施しており、そのために使用される水質は清浄化基準をクリアする必要があり、清浄化管理に取り組んでいます。



人工心肺業務

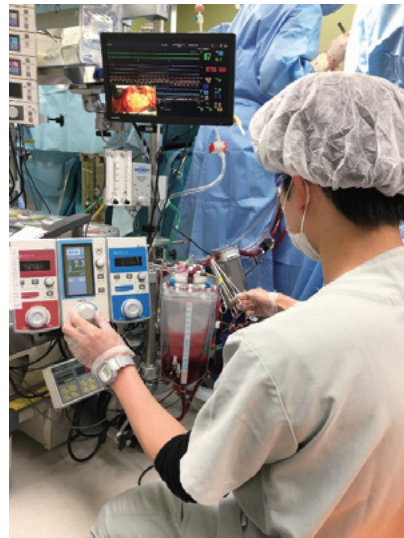
心臓外科手術において人工心肺装置を用いて臨床技術支援を行っております。

心臓の手術では心臓の動きを止めて実施しますが、手術中の血圧や酸素化、代謝管理を行う必要があります。

臨床工学技士は手術中、人工心肺装置で血液の体外循環を安全に開始し、心臓を止めて患者さんのバイタルや代謝管理を行い、再び心臓を動かし、体外循環を終えるまでの操作を行っています。

365日当直&on call体制を敷いており、休日・夜間の緊急手術にも対応しています。

また、人工心肺以外の症例でも自己血回収装置の対応をしています。



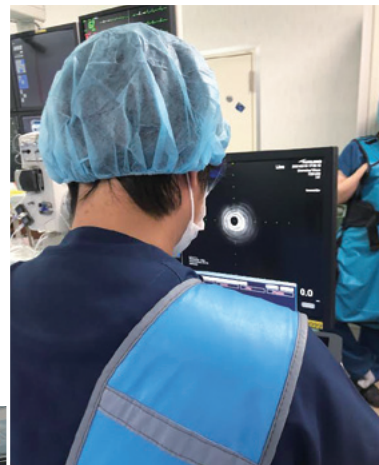
心臓カテーテル室業務

心臓カテーテル室業務ではカテーテルを用いた心臓の検査、冠動脈の治療、アブレーションを行っています。

冠動脈の治療では心筋梗塞や狭心症に対し、冠動脈にバルーンやステントと呼ばれる金属製のチューブを用いて少なくなった血流を増加させる様にします。

臨床工学技士は治療時に用いられる装置の操作やデバイス管理を行っております。

また、アブレーションでは心房細動などの不整脈疾患に対しカテーテルを用いて心筋を焼却する治療で、治療時に用いられる3DマッピングシステムとLaboシステムの操作を行っています。



ペースメーカー業務

ペースメーカーとは遅くなった心臓の脈拍数をサポートするデバイスです。

ペースメーカーの設定を行うにはプログラマという装置を用いますが、臨床工学技士はプログラマでペースメーカーの設定や解析を実施しています。

植込み手術時のサポートや植込み後のチェックを行っています。

またペースメーカー外来も担当しており、外来で来院された患者さんのペースメーカーのチェックを行い、動作や電池の残量に問題無いかを週一回行っています。

当院ではペースメーカー以外にも、植込み型除細動器であるICDや心臓の右側と左側の両方でペースングを行う（通常ペースメーカーは右側のみ）CRT-PとICD機能を加えたCRT-Dも対応しています。



手術支援業務

手術支援業務ではダヴィンチ（手術支援ロボット）や手術室で使用される医療機器の点検・トラブル対応に関わっております。

ダヴィンチとはロボット支援手術装置のことで、医師がロボットを操作して手術します。

臨床工学技士はこのロボット手術を安全かつ円滑に操作できるように機器の準備から使用前点検・ロールイン・術中のトラブル対応・ロールアウト・使用後点検を行っています。

ダヴィンチシステムはペイシェントカート・サージョンコンソール、ビジョンカートの3つのシステムで構成されています。他スタッフのワーキングスペースを確保した配置を考えて機器を配置し、手術時間の妨げにならないようにスムーズかつ安全なペイシェントカートの移動を心がけ業務にあたっています。

2021年2月よりda Vinciを用いたロボット支援手術を泌尿器科・婦人科・消化器外科（下部消化管）にて行っており、2021年6月からは新たに食道の手術も実施されます。



集中治療業務

三次救急を担う救命救急センターや手術後の重篤な患者の多いICUには、生命維持管理装置を多く使用されています。臨床工学技士は生命維持管理装置の管理として、補助循環装置（ECMO・IABP）・血液浄化装置・人工呼吸器の対応をしています。

人工呼吸器では各種点検の実施、使用中のトラブル対応をしています。

補助循環では急変で心肺停止となった症例に対して行うV-AECMOや重症肺炎に対して行うV-VECMOを実施しています。循環サポートのためIABPも実施しています。

血液浄化では循環動態不安定で腎不全となった症例に行うCHDFや血漿交換、血漿吸着、PMXなど様々な血液浄化療法に対応しています。その他ME機器トラブルも対応しています。



技士長からのメッセージ

昨年度7月に異動昇任で参りました臨床工学技士長の中村貴行と申します。前任地の大阪南医療センターでは20年（非常勤を入れると約25年）在籍していました。1人から始まった机と椅子しかない臨床工学部門でしたが、臨床業務の提供と医療機器の管理をおこない少しずつ業務を拡大し、今では臨床工学技士9名を要するまでの組織に成長することができました。この経験を活かし、前技士長の目指してきた部門目標を踏襲しつつ、安全・安心な医療機器を提供するために保守管理に努め、医療機器の効率的な運用を目指し他職種とも緊密な連携を図りながらチーム医療の一員として業務を遂行したいと考えております。そして豊かな人間性と高い倫理観を兼ね備えた臨床工学技士の育成を実践し、個人の能力を活かしたやりがいのある職場作りを目指したいと思っております。



インターネット外来予約のご案内

国立病院機構 大阪医療センター 地域医療連携推進部長 巽 啓司

地域の病院、診療所の先生方におかれましては、平素より当院との地域医療連携にご協力いただきありがとうございます。

当院ではリアルタイムに外来予約をお取りいただけるよう、インターネットを通じた外来予約システムを活用しております。おかげさまでご利用は徐々に増えておりますが、医師の皆様のみならず患者様にとっても利点の多いシステムですので、ご案内させていただきます。

インターネット予約最大の利点は、その場で予約が完了することです。そのため、FAXを送付する手間や、患者様に待っていただく時間が大幅に短縮されます。インターネット予約を利用される

際は、大阪医療センターのトップページよりワンクリックで専用ページに移動でき、ログインやマニュアルのダウンロードが可能となっております。ただし、セキュリティ確保のためログインには貴院専用のIDとパスワードが必要となりますので、お手数ではございますが下記お問い合わせメールアドレスまでご連絡ください。早急にIDとパスワードをお届けいたします。

なお、従来からのFAXでのご予約もご利用いただけます。

今後とも地域連携にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



お問い合わせ先
 大阪医療センター 地域医療連携室
 電話：06-6946-3516（地域医療連携室）
 メール：408-comonh@onh.go.jp

整形外科完全予約紹介制への変更のお知らせ

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より多くの患者様のご紹介ありがとうございます。さて、当科はご紹介患者様の入院診療を中心にやっていくことが、地域医療支援病院としての本来の機能であり、すでに紹介のない初診患者様におきましては選定医療費の徴収等の抑制措置が行われておりますが、いまだ地域の病院・診療所受診からの紹介なく当日初診、いわゆる飛び込み受診される患者様が多く、当科の本来の診療機能を圧迫しております。このような実情と昨今の厚生労働省の推進する、地域医療包括ケアシステムの構築、外来機能の明確化・連携の流れもあり、当科外来機能を紹介患者様中心に明確化することとなりました。

つきましては、令和4年4月1日より以下のように整形外科に限り完全予約紹介制に変更させていただきますので、ご理解のほどよろしく願申し上げます。

敬具

令和3年8月10日

大阪医療センター整形外科科長 三木秀宣

記

■ 初診

- ▷ 従前どおり、当院地域医療連携室（TEL：06-6946-3516（直通）、FAX：06-6946-3517（直通））にて、紹介状の送付とご予約をお願いいたします。（一部のドクターは当院ホームページからインターネット予約可能です。）
- ▷ ご予約のない患者様につきましては、紹介状がありましても来院当日の診察は不可となりますので、必ずご予約をお願いいたします。
- ▷ 精査、手術適応相談、手術目的等の診療に特化しており通院保存治療は行っておりません。整形外科以外の医療機関様で、これらのご判断がつかない場合（特に腰痛、肩痛、頸部痛、打撲、捻挫など）は、まずは、近隣の整形外科クリニック等の受診を勧めていただきますようお願い申し上げます。

■ 再診

- ▷ 病状の変化等で、当科再診を依頼される場合
 - ◇ 当科に再診予約のある患者様：患者様より当院予約変更センターで予約日変更（電話：06-6946-3519 受付時間：平日午後1時～4時）、もしくは医療機関様から地域医療連携室へ診療情報提供書送付にて診察予約も可能です。
 - ◇ 当科に再診予約のない患者様：医療機関様より地域医療連携室に情報診療提供書と予約をお願いいたします。
- ▷ 緊急に受診させる必要のある場合にはその旨地域医療連携室にご連絡ください。（時間外の場合は当院救急外来へご連絡ください。）

以上

令和3年 11月 3日(水・祝)

令和4年 1月10日(月・祝)

の各祝日に通常通り外来診療、手術等を行います。

関係医療機関 各位

平素は当院の運営にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当センターでは昨年度同様祝日診療を計画しております。
今年度は、令和3年11月3日(水)、令和4年1月10日(月)の
祝日に、外来診療、手術等を実施することといたしましたので、
患者さんのご紹介につきましてよろしく申し上げます。

なお、一部の診療科では休診等の場合もございますので、
事前にご確認をお願いします。予定のため、急遽休診または
変更する場合がございます。御了承下さい。

今後とも、皆様方のご協力のもと、地域医療の充実を図る
べく努力をいたして行く所存でございますので、よろしくご
願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構

大阪医療センター院長 松村 泰志

脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内

当院では、主に救急隊からの脳卒中・循環器疾患による患者搬送を受け入れできるよう、脳卒中・循環器ホットラインを設置しておりますが、本ホットラインは救急隊からの要請に限定したものではありません、広く各医療機関様からのご連絡も24時間お受けできる体制を取っています。

貴院かかりつけ患者様あるいは救急搬送された患者様で、脳卒中・心臓・大血管疾患の急変等が起こった際の搬送先として、当院のホットラインをぜひご活用ください。



独立行政法人 国立病院機構
大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL: 06-6942-1331 (代)

循環器ホットライン

06-6946-3544

循環器疾患24時間対応します。

脳卒中ホットライン

06-6946-3543

脳血管疾患24時間対応します。

医師及び消防局救急隊からの電話に限ります。

NHO PRESS ~国立病院機構通信~について

大阪医療センターは、国立病院機構（NHO: National Hospital Organization）という141の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS~国立病院機構通信~』を発行しています。

ホームページに最新号と過去のものを掲載していますので、ぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。



NHO PRESS

検索

QRコード



大阪医療センター

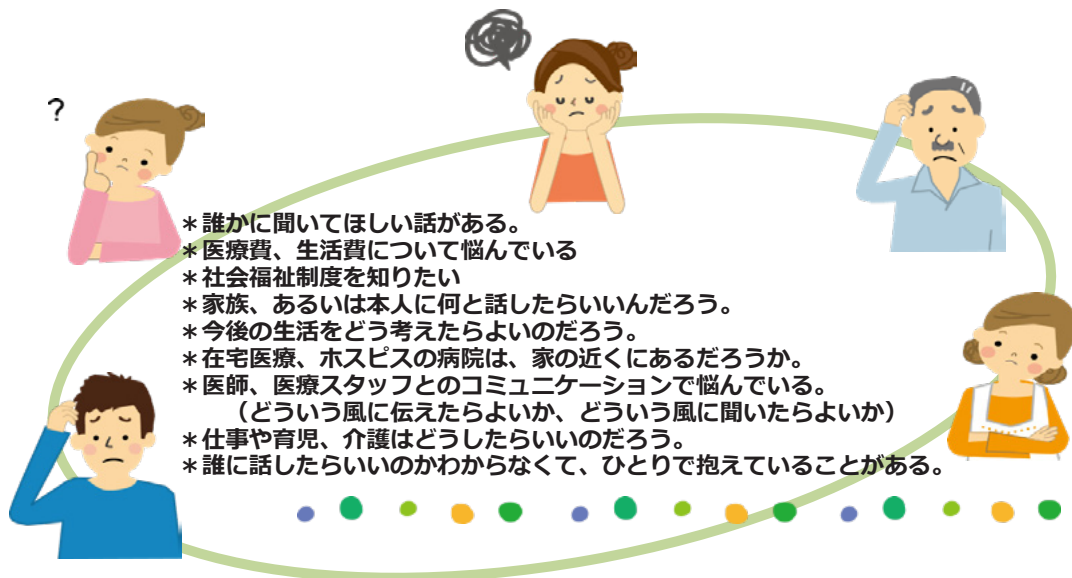
がん相談支援センター

のご案内



患者さん・ご家族の皆さまが、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、解決の糸口を一緒に考えます。
お気軽にご利用ください。

相談料は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。
* ご入院中の方は、ご希望により、病室までお伺いいたします。



相談にあたっては、患者さんやご家族のお考えやお気持ちを尊重し、できるだけみなさまご自身で問題の解決を図れるよう支援をいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

[月曜日～金曜日] 9:00～16:00
外来休診日はお休みです

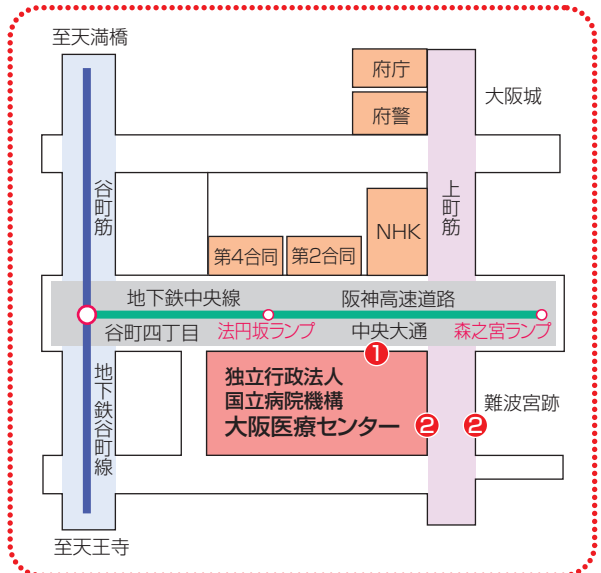
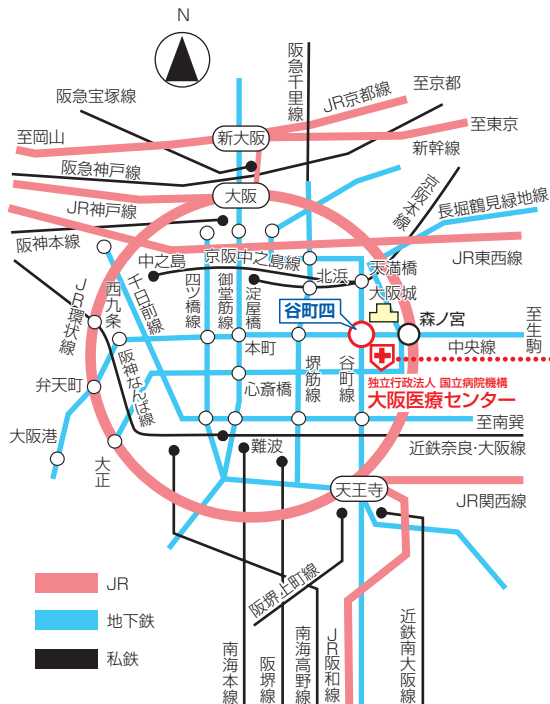
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も
やってます



交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■バス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。